

こちら
中央区 Chuo
10月号
平成29年

中央区役所
〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

・総務企画課 ☎096-328-2610
・区民課 ☎096-328-2240
・福祉課 ☎096-328-2311

・保護課 ☎096-328-2320
・保健子ども課 ☎096-328-2419
・中央税務課 ☎096-328-2181

中央区まちづくりセンター ☎096-328-2232

中央区の人口 (人口) 187,897人(前月比+78) (世帯) 97,942世帯(前月比+53) (面積) 25.45km² (国土地理院公表値)

中央区まちづくり事業

水まち水前寺にぎわい祭り

水前寺界隈の住民と商店街など地域の方々が企画・運営する水前寺の秋の祭り「水まち水前寺にぎわい祭り」が今年も開催されます。大人から子どもまで楽しめる祭りです。水前寺のにぎわいや魅力を感じてください。

日 時 10月29日(日) 午前10時～午後7時
※小雨決行、荒天時は11月5日(日)に延期予定。
※時間は場所により異なります。

場所・内容 戸井の外公園(サニー水前寺店裏): 飲食などの販売ブース、ステージイベント(地元の小・中学生、高校生の合唱や演奏会)、その他多数イベント
水前寺成趣園参道: にぎわい市(飲食・縁日)
詳しくは、水まち水前寺実行委員会事務局(☎096-371-2320)へ。
(中央区まちづくりセンター)



▲昨年の様子

中央区まちづくりセンターです

まちづくりセンターが開設し、はや半年が経過しました。担当する校区の取組みとして、託麻原校区では民生委員を補佐する「福祉推進員」を設け高齢者支援に力を入れています。帯山校区では子ども達にふるさとの記憶を残したいとの強い思いで、盛大な「校区夏まつり」や「どんどや」を開催。帯山西校区は「帯西伝承の日」や「帯西まつり」を開催し、世代間交流を深めています。



このような地域行事などに参加し、地域の皆さんと対話を重ねることで、より担当地域への愛着が増しました。同時に、地域活動担い手の不足・高齢化といった共通課題も見え始めています。今後も地域の皆さんの声を聴きながら、課題解決に向けた迅速な対応を心掛け、更なる地域力向上に向けて支援していきます！
(中央区まちづくりセンター)

場所 健康センター大江分室(ウエルパルクまもと3階)
内容 身長・体重の測定、行動や言葉の相談、歯に関する相談、離乳食・幼児食のすすめ方など
対象 中央区に住む乳幼児と保護者
持参物 親子(母子)健康手帳
申込み 当日直接会場へ
(中央区役所保健子ども課)

防災

そなえる防災講座 無料

今月は熊本の災害史をNHK「ブラタモリ」出演の稲葉教授が解説！古文書から学ぶこととは？
日時 10月25日(水) 午前10時～正午
場所 くまもと県民交流館パレア9階
演題 「歴史から見る熊本の災害」
講師 稲葉 継陽さん(熊本大学永青文庫研究センター長・教授)
対象 どなたでも
定員 40人(先着順)
申込み 10月5日から電話(☎096-334-1500)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ
(中央区役所総務企画課)

行政書士による相談会 無料

身近な困りごとについて、気軽に相談ください。
日時 10月5日(木) 午前10時～午後4時
場所 市庁舎1階ロビー(北側エレベーター横情報公開窓口前スペース)
内容 遺言・相続・成年後見・契約書・法人設立・出入国管理・交通事故など
詳しくは、熊本県行政書士会熊本中央支部(☎096-276-8010)または中央区役所総務企画課へ。

認知症介護家族の集い

介護の悩みを打ち明けて気持ちを分かち合い本音が話せる場です。

■こもれびひろば
期日 10月4日(水)、20日(金)
場所 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15)
申込み 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ

■もやいのひろば
期日 10月28日(土)
場所 風流街もやい館グループホーム五福(中央区細工町4丁目34-1)
申込み 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ

【共通事項】
時間 午後1時半～3時半
対象 認知症の方を介護する家族
費用 100円
(中央区役所福祉課)

新しい自治会長さんです (敬称略)

(7月31日までの届出)
緒方 義和(一新4) (中央区役所総務企画課)

多世代型オレンジカフェ

それぞれの世代が役割を持ち、活動し交流することで、認知症に対する理解が深まります。
日時 10月28日(土) 午後1時～3時
場所 水前寺公園参道「健康ふれあい広場」
内容 ・食生活改善推進員と一緒に！(味噌汁の塩分量測定などを行いますので、家庭の味噌汁を持参ください)
・囲碁、パソコンなど
対象 認知症高齢者および家族、高齢者、子ども、親世代、学生、地域関係者など
費用 100円
申込み 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ
(中央区役所福祉課)

専門医による心の健康相談 無料

心の病気でお悩みの方、気軽に相談ください。
日時 10月23日(月) 午後2時～4時
場所 中央区役所3階保健子ども課相談室
内容 専門医による個別相談
対象 心の病気の方や家族など
定員 2組(先着順) ※予約制
申込み 10月20日までに、電話で中央区役所保健子ども課へ

育児相談 無料

子どもの発育・発達や子育ての悩みごと、離乳食の進め方など気軽に相談ください。
期日 10月2日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
受付時間 午前9時～10時半

魅力再発見 出水南界隈①
城下町くまもと散策
「一ノ井手」

白川には加藤清正が造った農業用灌漑施設がありますが、その中の一つが渡鹿堰とそれに続く水路です。水路は大井手、一ノ井手、二ノ井手、三ノ井手とあり、その中でも出水南校区を南北に縦断しているのが「一ノ井手」です。出水・画図方面の田畑を潤す一ノ井手は全長6.5kmあり、灌漑面積は54ヘクタールです。
一ノ井手の始まりは市街地で暗渠(地下に設けた水路)の部分が多く、井出があるとは気がつかないのです。そこから八王寺通りを抜け出水南校区へ入り、出水6丁目付近では井出の右岸沿いに農地があり、さらに井手を下り亀継橋、長溝橋、前無田橋と続き、さらに下り出水8丁目に入ると井手の周辺に水田と園芸ハウス、出水南中学校の前を過ぎると井手の左手に天神の森があります。その後、画図を経て無田川に合流し一ノ井手は終わります。

現在も身近にある一ノ井手ですが、かつて一ノ井手は流域農民にとっては命の川として大事にされていました。農業用水以外にも野菜洗いや洗濯に利用し、夏は子どもたちが遊ぶ憩いの場として地域住民の生活に密着したものでした。しかし、戦後の経済復興により、工場や養豚場の排水や廃液が垂れ流され水質は悪化しました。さらに、上流に住宅が急増し生活排水が流れ、「ドブ川」と化していました。平成になり、下水道が整備され水質は改善し、今では生き物が生息するまでになりました。
身近にあり、普段何気なく目にしている一ノ井手ですが、歴史ある立派な遺産なのです。
参考文献 「出水と周辺地域の自然と歴史・文化遺産」(出水南校区ふるさとづくり推進 自然と歴史・文化の会編著) (中央区役所総務企画課)